つなぎ言葉の あとに くる 文を えらぼう

小3／1まいめ　「だから」「でも」の あとに つづく 文を 考えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

つなぎ言葉の あとに つづく 文を ア～ウから えらんで、記号を 書きましょう。
「だから」の あとは 前から そう なる こと、「でも」の あとは 前から 思うのと 反対の こと。
ア～ウの うち 1つは、どちらにも つづきません。

1 きょうは 朝から とても あたたかい 日です。

ア あつい コートを 着て 出かけました。

イ 姉は きのう 新しい ぼうしを 買いました。

ウ 半そでの シャツで 出かけました。

（1）だから、［　　］　（2）でも、［　　］

2 ぼくは いつもより おそく 家を 出ました。

ア 目ざましどけいが こわれて いました。

イ 学校には 一ばんに つきました。

ウ 学校には ちこくして しまいました。

（1）でも、［　　］　（2）だから、［　　］

3 かぜが すっかり なおりました。

ア サッカーの 練習に 行けました。

イ サッカーの 練習には 行きませんでした。

ウ きのうは 早く ねて 体を 休めました。

（1）だから、［　　］　（2）でも、［　　］

4 妹は 虫が とても にがてです。

ア チョウだけは 手に のせて あそびます。

イ 小さい ころ ハチに さされた ことが あります。

ウ にわの 虫には 近づきません。

（1）でも、［　　］　（2）だから、［　　］

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「こそあど言葉・接続語」のプリント一覧がひらきます

つなぎ言葉の あとに くる 文を えらぼう

小3／2まいめ　「それで」「しかし」「けれども」も 出て くる 1まい

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

つなぎ言葉の あとに つづく 文を ア～ウから えらんで、記号を 書きましょう。
「それで」は だから と、「しかし」「けれども」は でも と 同じ 向きです。
組ごとに つなぎ言葉が かわります。言葉の 形では なく 向きで 考えましょう。

1 きのうの 夜は 雪が ほとんど ふりませんでした。

ア バスは いつもより おくれて 来ました。

イ 空は 一ばん中 よく 晴れて いました。

ウ バスは いつもどおりに 来ました。

（1）それで、［　　］　（2）しかし、［　　］

2 まいさんは ピアノの 練習を ほとんど しませんでした。

ア はっぴょう会では うまく ひけませんでした。

イ はっぴょう会では 上手に ひけました。

ウ ピアノは おばさんから ゆずって もらいました。

（1）けれども、［　　］　（2）だから、［　　］

3 体いくかんの そうじを みんなで しました。

ア そうじは なかなか 終わりませんでした。

イ そうじ当番は 先週 みんなで 決めました。

ウ そうじは すぐに 終わりました。

（1）しかし、［　　］　（2）それで、［　　］

4 たろうさんは ねる 前に たいくつな 本を 読みました。

ア その 本は しゅくだいで 読む ことに なって いました。

イ さいごまで 目が さえて いました。

ウ すぐに ねむく なりました。

（1）だから、［　　］　（2）けれども、［　　］

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「こそあど言葉・接続語」のプリント一覧がひらきます

つなぎ言葉の あとに くる 文を えらぼう

小3／3まいめ　「そして」を 入れて 3行に なった 1まい

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

つなぎ言葉の あとに つづく 文を ア～エから えらんで、記号を 書きましょう。
「そして」は、前の ことに つづけて 話を 進めたり つけ足したり する ときに つかいます。
1つの 文は 1回だけ つかいます。1つは どの つなぎ言葉にも つづきません。

1 まさるさんは 川で 魚を たくさん つりました。

ア 家に 帰っても 少しも わらいませんでした。

イ 弟も 三びき つりました。

ウ まさるさんは きのうも 一ぴきも つれませんでした。

エ 家に 帰ると にこにこ わらって いました。

（1）だから、［　　］　（2）でも、［　　］

（3）そして、［　　］

2 あやさんは きのうの 夜 いつもより 早く ねました。

ア 弟も 同じ 時間に ねました。

イ きょうは 一日中 ねむかったです。

ウ 姉も きのうの 夜は おそくまで おきて いました。

エ きょうは 少しも ねむく ありませんでした。

（1）でも、［　　］　（2）そして、［　　］

（3）だから、［　　］

3 ゆうたさんは サッカーの 練習を 毎日 休みました。

ア ゆうたさんは 先月も 練習を 一日も 休みませんでした。

イ しあいでは 二点も 取りました。

ウ しあいでは 一点も 取れませんでした。

エ 家では ゲームも 毎日 して いました。

（1）そして、［　　］　（2）だから、［　　］

（3）でも、［　　］

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「こそあど言葉・接続語」のプリント一覧がひらきます

つなぎ言葉の あとに くる 文を えらぼう

小3／4まいめ　つづく 文を 自分で 書こう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

つなぎ言葉の あとに つづく 文を、自分で 考えて 線の 上に 書きましょう。
えらぶ こうほは ありません。向きが 合って いれば どんな 文でも 正かいです。
線は 2本 あります。長く なったら 下の 線に つづけて 書きましょう。

1 きのうは 一日中 雨が ふって いました。

（1）だから、

（2）でも、

2 ひろとさんは 走るのが とても 速いです。

（1）でも、

（2）だから、

3 にわの トマトが 赤く なりました。

（1）そして、

（2）だから、

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「こそあど言葉・接続語」のプリント一覧がひらきます

つなぎ言葉の あとに くる 文を えらぼう

小3／5まいめ　えらぶ 向きが 入れかわる しあげの 1まい

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

1と3は、つなぎ言葉の あとに つづく 文を ア～ウから えらんで 記号を 書きましょう。
2と4は、はんたいに 文を 読んで、□に 入る つなぎ言葉を はこから えらびます。
2と4の （1）～（3）は、どれも 同じ 1文目に つづく べつべつの 話です。

ことばの はこ　だから　でも　そして

1 まどの 外は まだ とても 明るいです。

ア まどの そばに 新しい 本だなを おきました。

イ 時計は もう 七時を さして いました。

ウ まだ 電気を つけないで 本を 読みました。

（1）だから、□　（2）でも、□

（ことばの はこから えらぶ）

2 はるとさんは 毎朝 犬の さんぽに 行きました。

（1）□、犬は とても 元気に なりました。

（2）□、雨の 日だけは 行けませんでした。

（3）□、帰ってから 花に 水も やりました。

3 みさきさんは ノートを ちゃんと 持って きたと 思いました。

ア 安心して 一時間目の じゅんびを しました。

イ かばんの 中を 見ると ノートが ありませんでした。

ウ 前の 日の 夜に ノートを かばんに 入れて いました。

（1）でも、□　（2）だから、□

（ことばの はこから えらぶ）

4 あきらさんは 朝ごはんを しっかり 食べました。

（1）□、二時間目に おなかが 鳴りました。

（2）□、水とうに お茶も 入れて きました。

（3）□、お昼まで おなかが すきませんでした。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「こそあど言葉・接続語」のプリント一覧がひらきます